

令和7年度第2回日南串間地域医療構想調整会議議事録

1 日 時

令和7年10月6日（月） 午後7時から午後7時55分

2 場 所

日南保健所 多目的室

3 出席者

（調整会議構成団体）

中村 彰伸 （南那珂医師会）
山口 雅史 （日南歯科医師会）
安藤 美彩 （日南串間薬剤師会）
大木 郁美 （宮崎県看護協会日南串間地区）
中野 直美 （全国健康保険協会宮崎支部）
原 誠一郎 （県立日南病院）
中津留 邦展 （日南市立中部病院）
高屋 剛 （串間市民病院）
水城 貴幸 （医療法人文誠会 なんごう病院）
黒水 伸一 （医療法人十善会 県南病院）
田中 三尋 （日南市健康増進課）
森 浩二 （串間市医療介護課）

（宮崎県福祉保健部医療政策課）

井上主幹、押川主幹、木村主任主事

（宮崎県病院局経営管理課）

黒木課長補佐、高橋主任主事

（事務局：日南保健所）

古家所長 西久保次長 熱田総務企画課長 松本主事

4 議題等

（1）議題

- ① 日南串間圏域における病床機能の分化・連携に関する進捗状況について
- ② 公立病院経営強化プランを踏まえた取組状況等について
- ③ 医療機器の共同利用計画について
- ③ 「新たな地域医療構想に関する検討会とりまとめ」の概要について

（2）その他

- ① 日南串間医療圏における患者の流出入状況について

5 会議経過

- (1) 日南保健所長挨拶
- (2) 議事録署名人選出
- (3) 議事等

6 議事概要

- (1) 日南串間圏域における病床機能の分化・連携に関する進捗状況について

【事務局から資料1の内容について説明】

| | |
|-----|---|
| 委員 | 資料1の最後の5ページに関して。先ほど県立日南病院が令和6年度に52床減らしたとの話があったが、愛泉会日南病院も病床の削減があったのではないか。 |
| 事務局 | 資料1の5ページであるが、こちらは令和5年度のデータになる。 愛泉会日南病院については、令和6年度に58床の（削減ではなく）休床を経て、最終的に4床の削減となっている。 |

- (2) 公立病院経営強化プランを踏まえた取組状況等について

【県立日南病院、日南市立中部病院及び串間市民病院からそれぞれ以下の資料により説明】

- 県立日南病院・・・資料2-1
- 日南市立中部病院・・・資料2-2
- 串間市民病院・・・資料2-3

| | |
|----|--|
| 議長 | 公立病院の経営がかなり厳しい状況だと推察する。人件費、物価の高騰などで経費の削減等図っていかないといけないのだろうが、そのことによって医療の提供体制が低下することだけは何とか阻止していただきたいところである。 |
|----|--|

(3) 医療機器の共同利用計画について

【事務局から資料3の内容について説明】

【質疑等なし。】

(4) 「新たな地域医療構想に関する検討会とりまとめ」の概要について

【事務局から資料4の内容について説明】

| | |
|--------|---|
| 議 長 | 医療計画が下に、地域医療構想が上になったということだが。 |
| 事務局 | はい。両者の関係性が逆転したようだ。 |
| 議 長 | そうすると、地域医療構想では必要病床数、一方で、医療計画の方は基準病床数という考え方を持っていた。今後、その基準（病床数）というのは議論の対象にはならず、これから先、（地域医療構想の）必要病床数で物事を考えていくような形になるという認識でよいか。 |
| 事務局 | 当方で把握している範囲だが、どちらの考え方もまだ残るような感じではあるよう。県医療政策課の方で何か補足があればお願いしたい。 |
| 県医療政策課 | <p>会長からの御質問であるが、基準病床数とかは、医療法に規定されている。で、まだ国の方で（今回の）医療法の改正手続がまだ終わっておらず、国会審議まで入っていない。おそらく今後臨時国会が開催されて医療法の審議があつて、医療法が改正されたときにどうなるかというところであるが、正直どうなるかまだ分からない。</p> <p>地域医療構想（と医療計画の関係性）が逆転するという見込みにはなっているが、医療法の改正がないとその辺の位置付けというのが明確に決まらないので、これから臨時国会が開催されて、その動向を見ながら、実際（地域医療構想の）必要病床数がベースになるのか、（医療計画上）の基準病床数（の考え方）が廃止されるのかという議論も実際はあるようなので、我々としても今注視しているというような状況である。</p> |
| 議 長 | （その辺りが決まらないと、）基準病床数は多いのに必要病床数が少ない場合、増やしていいのか、減らさないといけないのか分からない状 |

況になるので、早く示していただきたい。

議 長

（2025 年をもって）この地域医療構想の 2025 年必要病床数についての議論は終わらせて、その先に次に進むという考え方でよいのか。

今後とも必要病床数に対して調整をやっていって、更に新たな地域医療構想で外来機能とか、介護連携とかそういったものについても、地域特性に応じた形で議論を進めていくということになるのか。

事務局

先ほどのスケジュールのところでも申し上げたが、まず、国が（地域医療構想の）ガイドラインを今年度中に作って、それを受けて、翌年度令和 8 年度中に、県の方で地域医療構想を策定するという流れになっている。従って、それを受けて、新たな地域医療構想が実際に動き出すのは令和 9 年度からになる見込み。

それまでの間は現行の取組を継続するように、という話になっているので、新たな地域医療構想になるまでは、引き続き今の取組、まだ現行の地域医療構想での必要病床数については達成できてないので、その目標に向けて取組を続けていく、そのような認識でいるが、まだ少しはつきりしない部分もあるので、また新たな情報が入り次第、皆様に御説明したいと思っている。

（５）日南串間医療圏における患者の流出入状況について

【全国健康保険協会宮崎支部から資料 5 の内容について説明（情報提供）】

【質疑等なし。】

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印